

大ヨーロッパ

中大生のレポート

経済学部

黒沼 勇史

3 友人が見る「EU」

今回はカーディフ大学の4人の友達とポブ先生に、イギリスのユーロ統一通貨の参加など、ディスカッションの形でさまざまな意見を聞いてみた。

◆ディスカッション参加者

「ジェズ」昨年、フィニッシュラインに交換留学。
「ハンナ」昨年、イタリアに交換留学。イギリス人とチェコ人のハーフ。
「アンソクレア」フランスから来ている交換留学生。
「サイモン」留学経験はない。ウェールズ語も話ず英国人。
「ポブ先生」EU（欧州連合）に熱中する先生。

Q もし「ヨーロッパ人」としてのパスポートと自国のパスポートを択できるとしたら。

ジェズ 今の段階では英国のパスポートを選ぶ。それは単に一つにまとまってくる欧州の中で、自分の国

を区別したいからだ。

アンソクレア パスポートには、自分がどこの国から来たのか、書いてある必要があると思うわ。

サイモン 伝統的にパスポートはその人のアイデンティティを示すもので、欧州連合にとつてはそれほど大きな問題ではないだろう。

ハンナ 私はイギリスとチェコと、両方のパスポートを持ってますが、ヨーロッパのパスポートの方がいいです。政治的な統一性のシンボルに

イギリスは統一通貨を急げ

もなるし。

Q イギリスのEU加盟について。
サイモン イギリスにとつて、またウェールズ地方にとつて、投資が増え、経済的な面でよかつたと思う。しかし、EUにとつて、イギリスの加盟はよくなかつたと思う。統合への積極性に欠けているからだ。

ポブ先生 サイモンに賛成だ。イギリスは今日のEUのために貢献してきてもいるが、実際にはイギリス自身のために動いてきたといえる。アンソクレア イギリスはいつも得しようとはかりしている。ユーロについても、よければ入る、悪ければ入らない。そうではなく、一度ブロックに入ったら悪い面も受け入れ

ともに創り上げていくべきだわ。

ハンナ イギリスはヨーロッパの統合を減速させていると思います。

ジェズ イギリスは、EUがどこに向かうのか100%自信がないと「ちよつと待て、やっぱりやめておくとすぐ言う。EU加盟は結婚と同じだ。運命を共にすべきだ。」

Q イギリスは統一通貨ユーロにすぐ参加すべきか。

ハンナ イギリスはすぐ参加すべきだと思いません。遅かれ早かれイギ

リスの参加は、EUの統合を加速させるでしょう。

アンソクレア 私も賛成だ。アメリカなどの貿易ブロックとの競争を考えると、イギリスのユーロ参加はEUにとつて強い味方だわ。

サイモン ユーロに加入すれば欧州内への輸出货量も増え、通貨を統一するおかげで従来の通貨交換手数料も省ける。

ジェズ 英政府はすでにユーロ通貨を印刷し始めている。これは政府がすでにユーロ参加を決定しているという意味ではないか。それとは別に、北米のブロックの方に入る選択も議論されるが、遠いということと、英国が欧州と深く結びついてきているということ、バカげている。

サイモン 南米のドル化の動きもあり、もしイギリスがユーロにも北米にも入らなければ、世界三大経済圏を相手にどう対応できるのか。

Q 世代の違う（笑い）ポブ先生はかつて世界を支配した誇りあるポンドを手放せるのか。

ポブ先生 そんな誇りはない（笑い）。ポケットに金があり同量のものが買えるなら、ユーロでも何でもかまわない。私はイギリスがユーロ圏に参加しないで、ポンドにしがみついていることはできないと思う。

Q 私には日本円が中国元などになつてしまふなんて想像できない。



(左から)筆者、友人のサイモン、アン＝クレア、ハンナ、ジェズ

は国際的役割を
発展させるべき
か。
サイモン 戦
後50年もち、
アメリカに率い
られたNATOも
あるのに、欧
州にはまだ戦争
がある。ポス二
ア問題などだ。
次の千年代が始
まるというのに
欧州防衛軍を
持って、このよ
うな問題は解決
しなければ。
アン＝クレア
欧州にはそう
いった問題を独
自で解決できる
力があると思う
わ。

ボブ先生 それはまた耳慣れない話だね(笑い)。
Q チェコのEU加盟については、ハンナ 私たちチェコはすぐに加盟するでしょうし、そうすべきです。東欧の国々は弱い国といわれますが、さまざまな規則付きであつても、加盟は時間の問題でしょう。
Q NATO(北大西洋条約機構)に変わり欧州防衛軍を創設し、EU

ハンナ 歴史的に見て、欧州で起こることは簡単に世界に伝わっていく。まるで災害のように。欧州の持つ政治的影響力の大きさを考えなければならぬと思います。
ジェズ アメリカもアジアも欧州の問題にはそれほど関心を示さないだから自分たちの問題は自分たちで解決しなければならぬ。
サイモン 国連は何事にも時間をかけるし、NATOは政治的組織ではない。大半のヨーロッパ人は欧州防衛軍を持つべきだと思つていて。
ボブ先生 私も賛成だ。アメリカはそれほど頼りにならないし、フランスはアメリカの援助を好まない。それにアメリカとの「貿易戦争」などが問題になっている中、米軍が欧州のための警察だ、と言つのも変だ。
Q 欧州防衛軍が欧州攻撃軍になる可能性は。
ボブ先生 それはあり得ないだろう。欧州軍は欧州内の軍事問題を解決するのに使われるくらいだろう。
Q 経済不振が人心を変え、他国の利益を奪い合つた30年代を繰り返すことは。
ボブ先生 それはないと思う。それにいつたい、どの国を攻めるのかね(笑い)。
Q 経済大国日本はどうですか。
ボブ先生 それはいい(笑い)。
Q EUの未来について。

サイモン イギリスは2002年までにはユーロを導入するだろう。それにはこれからの3年間、大衆の意見をおおるためのプロパガンダ戦争が盛んになるだろう。
ハンナ 2005年にはチェコやハンガリー、ポーランドなどへのEUの東方拡大が本格化すると思ひます。その前にEUは段階的にもつと調和のとれた共通政策を備えておく必要があるでしょう。
ジェズ 2100年には20~25カ国が加盟して、それ以上の加盟国を受け入れないブロックになっているだろう。旧共産圏や北アメリカがEUにもつと近づいてくると思つが、ロシア自身は距離を保ちそうだが、ロンドンはいつまでも、欧州の金融の中心であるだろう。
アン＝クレア 欧州がEUとして一つにまとまるのはジェズが言うほど簡単ではなく、各国が自国の資産をEUの下で統一するには時間がかかると思うわ。
ボブ先生 東西ドイツの時に見られたように、2つの欧州が結合するためには多くの課題があるだろうがそれらを解決していき、EUが永遠に続いてくれることを願う。まあ、2100年には、私はこのへんにはいないと思うが(笑い)。

ウェールズ代表部 エバ女史に聞く

2月に行われた欧州委員会ウェールズ代表部の代表、キャサリン・エバ氏(写真)とのインタビューの一部を紹介する。

ヨーロッパのどの国が環境政策でより優れていますか。

「スウェーデン、ドイツ、デンマー



クなどです。環境は多くの観点を含んでいますが、例えばスウェーデンは高水準の環境法が整い、ドイツはゴミのリサイクルを誇っています」
EUの共通環境政策について、誰が最も強い発言権を持っていますか。
「重要な機関は加盟国の各大臣による官僚理事会です。欧州の環境政策は環境大臣が理事会で議論し、その後、欧州議会で賛成されれば欧州委員会が法律をつくり実行します」